

Minami Kyushu University Syllabus										
シラバス年度	2025年度	開講キャンパス		都城キャンパス		開設学科		子ども教育学科		
科目名称	保育内容総論						授業形態		講義・演習	
科目コード	750067	単位数	2単位	配当学年	2	実務経験教員			アクティブ ラーニング	○
担当教員名	西田 雅美								ICT活 用	○
授業概要	本授業の目的は、保育内容の歴史の変遷について学び、幼稚園教育要領や保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領の趣旨を理解し、保育の基本について理解を深めることである。 保育は、養護と教育が一体となって展開されるもの、遊びを通して総合的に行われることが基本であることを理解し、一人一人に応じた支援の在り方について学ぶ。 授業では、演習課題を通し、各自で課題解決を図り、保育者として子どもを支援する視点について考えていく。 また、指導計画について理解し、作成の基本を身につけた上での立案・実践に繋げられるようにする。									
関連する科目	「保育原理」を事前に履修しておくことが望ましい。履修後は「幼児理解」を受講することが望ましい。									
授業の進め方 と方法	演習形式の授業を行う。授業の前半は、授業計画の内容に沿った講義をパワーポイントや視聴覚教材等を活用しながら行う。後半では、演習課題に取り組み講義の内容理解を深める。 その他、製作活動（事前に連絡）や作品を活用した実践発表、理解度確認のための振り返りテストを行う。									
授業計画 【第1回】	授業概要の説明および保育者の仕事についての理解 授業の進め方について説明を行った後、保育所の役割や保育所における保育内容について学ぶ。									
授業計画 【第2回】	保育の全体構造（養護にかかわる内容） 保育所保育指針における「養護」にかかわるねらい及び内容について学ぶ。									
授業計画 【第3回】	保育の全体構造（教育にかかわる内容） 保育所保育指針を中心に「教育」にかかわるねらい及び内容について学ぶ。									
授業計画 【第4回】	保育内容の歴史の変遷 保育所保育指針、幼稚園教育要領、幼保連携型認定こども園教育・保育要領の歴史の変遷について学ぶ。									
授業計画 【第5回】	子どもの発達と保育内容 乳幼児期の発達過程やそれを踏まえた指導計画の作成について学ぶ。									
授業計画 【第6回】	養護と教育が一体的に展開される保育 養護と教育が一体となった保育について考える。									
授業計画 【第7回】	子どもの主体性を尊重する保育 子どもを主体とした保育内容について考える。									
授業計画 【第8回】	環境を通して行う保育 環境を通して行う保育・教育について学び、保育者の役割について考える。									
授業計画 【第9回】	生活や遊びによる総合的な保育 乳幼児期の学びとしての遊びについて考える。									
授業計画 【第10回】	個と集団の発達を踏まえた保育 個と集団の発達の関連性について学ぶ。									

授業計画 【第11回】	家庭や地域等との連携を踏まえた保育 課程・地域との連携を通した保育所における子育て支援について学ぶ。
授業計画 【第12回】	小学校との連携・接続をふまえた保育 小学校教育との連携・接続について、保育の視点から考える。
授業計画 【第13回】	乳児保育および長時間の保育 乳児保育の現状と課題について学ぶ。
授業計画 【第14回】	特別な支援を必要とする子どもの保育 特別な支援を必要とする子どもの保育について学ぶ。
授業計画 【第15回】	多文化共生の保育 保育における多文化共生について学び、全体の総括を行う。
授業の到達目標	1. 保育内容の歴史の変遷について学び保育内容について理解する 2. 子どもの主体的な活動を保障する環境設定や遊びを通して総合的に指導する方法、保育内容を具体化する指導計画の作成、評価方法を学ぶ 3. 子どもの生活全体を通して養護と教育が一体的に展開されることを理解する 4. 保育の多様な展開について学ぶ
学位授与の方針 (DP)との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(1)／2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(1)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(1)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(2)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(4)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(5)
授業時間外学習【予習】	指定した課題に取り組む（30分程度）
授業時間外学習【復習】	授業内容を振り返り、授業内容を各自でまとめ、内容の定着を図る(40分程度)
課題に対する フィードバック	振り返りテストは実施後、解説する。 定期試験は試験後に解説する。
評価方法・基準	以下の項目に基づいて評価する。 1) 最終試験（50点） 2) 学習態度・意欲（30点） 3) 振り返りテスト・課題提出（20点）
テキスト	『子どもと共に学びあう 演習・保育内容総論 第2版』 株式会社 みらい 『令和5年度 最新版 幼児期までのこどもの育ちに係る基本的なビジョン 幼稚園教育要領 保育所保育指針 幼保連携型認定こども園教育・保育要領』 <原本> チャイルド本社 その他、適宜資料を配付する。
参考書	『新基本保育シリーズ⑭ 「保育内容総論」』 公益財団法人児童育成協会監修 中央法規 『保育所保育指針解説』 厚生労働省編 フレーベル館 『幼稚園教育要領解説』 文部科学省編 フレーベル館 『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』 内閣府・文部科学省・厚生労働省編 フレーベル館
備考	製作や保育実践を取り入れる。